

2016年6月3日



Passienol™

森永製菓独自素材“パセノール™”に関する研究成果  
有効成分ピセアタンノールの抗炎症作用について  
国際学術誌「Food Science & Nutrition」に掲載

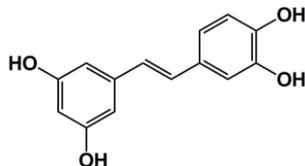
森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井徹）では、健康分野における機能性素材の開発を推進してまいりました。その中でパッションフルーツの種子中にアンチエイジング機能を有する“ピセアタンノール (Piceatannol)”※1が豊富に存在していることを発見し、森永製菓独自の健康素材「パセノール™（アルファベット表記：Passienol™）」を2013年に開発しました。

「パセノール™」の有効成分である“ピセアタンノール”は、アンチエイジング素材として注目されている“レスベラトロール(Resveratrol)”※2と非常によく似た構造であり、当社ではこれまでに体内吸収性が優れていることや心血管保護作用、皮膚老化抑制作用、SIRT1（長寿遺伝子）誘導作用、血糖値降下作用などを明らかにしています。

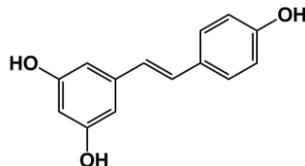
この度、パセノール™に関する新しい研究成果が、京都大学大学院農学研究科 河田照雄教授のグループとの共同研究により国際学術誌「Food Science & Nutrition」に掲載されました。

糖尿病発症の原因であるインスリン抵抗性を模倣した培養細胞の実験系で、ピセアタンノールが抗炎症作用を示すことを見出しました。更に、抗肥満作用のある褐色脂肪細胞に特異的に発現しているUCP1(熱産生分子として機能する脱共役タンパク質)の炎症による発現低下をピセアタンノールが回復することも示しました。これは食品成分での初めての報告です。抗炎症作用を有する“ピセアタンノール”を有効成分とする「パセノール™」は、糖尿病や肥満を改善する機能性成分として期待できると考えています。

当社では、今後も独自素材「パセノール™」の機能性を利用した製品開発をさらに推進していきます。



※1 ピセアタンノールの構造式



※2 レスベラトロールの構造式

Passienol™のロゴ；

Passienol™



Passienol™のHPアドレス； <http://www.morinaga.co.jp/company/healthcare/passion.html>